

平成29年度 地域座談会で寄せられた要望・意見・提案の対応方針等

【湯の沢児童センター】湯の沢自治会 参加者数：9名

No	要望・意見・提案の内容	所管課	対応方針等
1	昨年、開催された松田サミットで松田城址が行程にあった。先日テレビで山城トレッキングが特集されたが、松田城址も遜色なく魅力的な場所と思うので、広くアピールしてはどうか。また、堀切という史跡が松田城址にもあったので、標識を設置して周知したらどうか。	政策推進課	松田山の開発は、過去に全山公園化構想も掲げましたが、さまざまな経緯から土地利用などの課題が多くあります。今後は、開発・保全の方向性を定めるなかで、提案の内容を検討してまいります。
2	町全体として、将来のビジョンを伺いたい。住みやすい町を目指すのか、大都市化したいのか。	政策推進課	自治体の担う役割として、地域住民の幸福度向上という視点を大事にしたいと思います。まちづくりの方向性としては、企業誘致を目指すよりも、住まいとして選ばれる町を指向しています。万人に満足されることは難しいことですが、全てのことをレベルアップしていけるよう努力してまいります。
3	湯の沢の町有地の活用について、地域は営利を求めているわけではない。本地区の一部であることや経緯を踏まえて、よく考慮いただきたい。	定住少子化担当室	地域の皆様へ町の利活用の考え方について、平成29年11月30日に説明会を行いました。その際、平成28年度に実施した地域の皆様との意見交換会にて頂いたご意見（防災機能、地域コミュニティ、買い物）を踏まえ、開発事業者の募集をしていくことを説明いたしました。地域にとっても町にとっても魅力的な活用策を民間から提案いただき、土地の活用を図っていきます。
4	湯の沢の町有地は、どのように活用していくのか。現在、民間企業が無料で管理し、ふるさと納税の返礼品目（はちみつ）も取り扱っているようだが、費用が発生しているのか。	総務課	先般、当該地の活用に係る基本方針を公表させていただきました。今後、事業者（内容）の募集、選定を実施することとなりますが、国道沿いの町の玄関口として相応しいものとしていきます。
5	健康福祉センター近くの堤防道路（カーブ部分）に設置されているガードレールに落書きがあるので対応願いたい。	まちづくり課	平成29年12月末に実施しました。
6	文化センターの展示ホールで開催される催しに参加すると、スライドを利用されるときに、暗くして顔が見えなくなってしまう。最前列だけ消すなど工夫してもらいたい。	教育課	貴重なご意見として、状況に応じてスポットライトの使用なども検討してまいります。
7	松田町民文化センターのスポーツライミング利用者の見込みは厳しいのではないかと。戸川公園に行くと、利用者が少なく感じる。	教育課	昨年度整備した施設は、ボルダリング初心者、中級者などを利用層として考えております。したがって、現在の国民体育大会の予選程度の公式大会は開催できる施設ですが、あくまで競技目的の利用ではなく、この施設で自分の体力を確認したり、体力の向上に努めていただく場所として、広く利用していただくことを考えています。町としましては、利用者は子どもから大人まで誰でも利用できる施設として、費用対効果は無限に広がると考えております。
8	湯の沢児童センターは老朽化が進んでいるため、長期的に利用ができるよう改修等の支援をお願いしたい。	教育課	湯の沢児童センターは、避難所として指定されており、平成28年度には、耐震補強工事も実施しました。他の集会施設や児童センターもあるので、老朽化による補修等については優先順位を決めて、実施していきたいと考えております。